

群馬県立玉村高等学校 学校評価一覧表②

(平成27年度版)

羅 針 盤			方 策	達成度			改善状況のまとめ	学校関係者評価	次年度の課題
評価対象	評価項目	具体的数値項目		①	②	総合			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	(1)自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は、80%以上である。	i 学級経営や授業・行事において、生徒が充実感や達成感を味わえるよう、集団とともに個人を大切にした指導を展開する。【教務】	D	D	D	・「玉村高校が好きだ」と感じている生徒は、第1回は61%、第2回は59%であった。生徒の実情を把握した上で、集団とともに個人を大切にした指導を行い、生徒にとって安心して学習等に取り組める学級経営に取り組む。	・玉村高校が好きだと答えた生徒の比率が年々減少している状況は、とても残念である。自分一人一人が学校を形作っているという意識を持って頑張ってもらいたい。今後、玉村高校が好きだと感じている生徒が増加することを期待している。	・「好き」と答えていない理由や背景を分析し、生徒の自己肯定感や学校への帰属意識を高める指導に結びつける。
		(2)ぐんまチャレンジ・ハイスクールを意識して、自分のキャリアアップの向上を目指している生徒が70%以上である。	i 進路行事、学校設定教科「教養表現」を中心として、すべての教科において、ぐんまチャレンジ・ハイスクールの「基礎基本の充実」「コミュニケーション力の育成」「進路選択力の育成」を意識した授業展開を図る。【教務・進路】	C	C	C	・授業や行事など、あらゆる場面で、教員がぐんまチャレンジ・ハイスクールの三本柱を意識した指導を行う。3年間を見通した有効かつ効率的な計画を構築し、生徒自身がキャリアアップできたと実感できる指導を行う。	・ぐんまチャレンジ・ハイスクールの取り組みは素晴らしいものであり、学校設定教科を中心として、生徒のキャリアアップについての指導を継続して欲しい。	・進路行事、学校設定教科だけでなく、すべての教科において、ぐんまチャレンジ・ハイスクールの「基礎基本の充実」「コミュニケーション力の育成」「進路選択力の育成」を意識した授業展開を図る。
		(3)コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ、数学Ⅰ・Ⅱ・Aの習熟度別の授業、社会と情報、情報処理実習、情報表現実習、表現基礎、マナーと表現Ⅰ・Ⅱの「ティーチング」(T.T)の授業形態に、生徒の85%が満足している。	i 教育課程委員会において、実情にあった教育課程を検討する。【教務】 ii 生徒についての情報交換や学習内容に関する意見交換を行い、指導形態を工夫していく。【教務】	C	B	B	・多くの生徒が、本校の特色である習熟度別、少人数、T.Tによる授業に満足している。今後もいっそう基礎学力が定着するよう工夫した授業を展開する。	・アンケート結果から少人数授業や習熟度授業が十分な効果をあげていることがわかる。また、学校設定教科に関する満足度が高いのは、その良さや必要性を理解しているからだと思う。	・少人数授業、習熟度授業、T.Tによる授業を継続し、基礎学力の一層の定着を図る。また、学校設定教科の学習内容を精査し、より工夫した授業展開を図る。
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	(4)授業がわかりやすいと感じている生徒が80%以上である。	i 管理職による授業観察を行うとともに、教員相互で授業参観を実施し、魅力ある授業の構築に努める。【教務】 ii すべての科目において、効果的な「学び直し学習」(中学の復習的内容)を取り入れ、生徒にとってわかりやすい授業を展開する。【教務】 iii 授業改善に向けた職員研修を行い、「共同学習」「学び合い学習」などのアクティブ・ラーニングを積極的に行う。【教務】	B	A	A	・教員、生徒ともに第2回アンケートでは肯定的な回答率が向上した。ステップアップサポート事業関連の授業改善や研修により職員の意識も高まり、生徒も授業がわかりやすいと感じている。これはとても大切なことだと思うので、これまでどおり、生徒たちにとって、分かりやすい授業を心掛けて欲しい。	・授業参観の際、共同的な学習形態が取り入れられ、双方の授業が行われていた。また、多くの生徒がその授業がわかりやすいと感じている。これはとても大切なことだと思うので、これまでどおり、生徒たちにとって、分かりやすい授業を心掛けて欲しい。	・わかりやすい授業を心掛けるとともに、さらに校内研修を充実させ、生徒が協同的に学ぶ学習形態を積極的に取り入れ、課題解決型の授業を行う。
		(5)読書指導により、学校図書館における年間貸出数が一人平均8冊以上である。	i 朝の読書活動を推進する。【教務】 ii 朝の読書推進委員会を開き、朝の読書の改善・充実について検討する。【教務】 iii 定期的な図書通信(Library)を発行して、書籍の紹介等を行う。【教務】 iv 読みたい本を積極的に揃える。【教務】	継続	C	C	・「朝の読書」は、行事や考査期間以外は、ほぼ毎日実施することができた。読書を通して集中力や想像力を養うことができた。年間の図書貸出数は1人当たり6.5冊であった。今後も生徒の読書意欲を向上させたい。	・昨年度と比較すると、貸出平均冊数が減少している。その原因について考えて改善して欲しい。朝の読書については今後も継続し、読書意欲を喚起するため、魅力ある図書館作りを続けて欲しい。	・魅力ある図書館作りを力を入れ、生徒の読書意欲を喚起する。また、朝の読書の活性化を図る。
		(6)学力が身についたと感じている生徒が、70%以上である。	i 授業改善を推進し、生徒の基礎学力の向上と定着を図る。【教務】 ii 放課後の補習や課題の指示を積極的に行う。【教務】	B	B	B	・「学力が身についた」と感じた生徒が第2回で67%に低下した。授業はわかりやすいが、学力が身につかないという状況を分析する必要あり。	・生徒自身が学力が身についたと感じている比率が低下したことについて検討し、生徒の基礎学力の向上と定着のために方策を考えて欲しい。	・生徒の基礎学力向上を図るため、わかりやすい授業の推進、定期考査前の補習等を徹底する。
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	3 生徒は確かな学力を身につけていますか。	(7)各種検定や資格取得を推奨し、のべ500人の生徒が検定等に挑戦し、50%以上の合格率である。	i 日本漢字能力検定・実用英語技能検定・家庭科技術検定・全商ビジネス実務検定・全商情報処理検定などの検定試験を校内で行う。【教務】	C	B	B	・検定試験の受験者は増加傾向である。全体の合格率は53%であったが、受検者数や合格数も検定によって開きがあるので、それぞれ改善できるよう今後の課題とした。	・資格取得にチャレンジすることは、生徒の意欲向上に繋がる。生徒や先生方の努力が実を結ぶよう期待している。	・計画的な準備を行い、資格取得に向けて目的意識を高める。
		(8)いじめの発生防止に努め、いじめの解消率が100%である。	i 人権やいじめに関するアンケート調査を実施し、いじめの未然防止、早期発見及び早期対応に努める。【教務・生指】 ii 集会時に人権やいじめに関する話題を取り上げる。また、LHR等で人権教育や道徳教育を実施する。【教務・生指】	B	B	B	・全校対象のアンケートを年2回実施。また、問題が発生した場合には随時学年集会やクラスへのアンケートも実施した。	・生徒、職員の良い関係が築けており、速やかに情報を収集し対応することで、いじめの未然防止ができていると感じた。	・生徒の人権意識を高めるとともに、計画的にアンケートを実施することによって、生徒の実態把握に努める。
		(9)朝の玄関指導、あいさつ運動を1学期に60日、2学期に70日、3学期に50日以上実施する。	i 玄関指導の重要性を理解し、継続して実施する。【生指】 ii 風紀委員、生徒会本部役員を動員してあいさつ運動を実施し、基本的生活習慣の確立を図る。【生指】	B	B	B	・風紀委員会、生徒会本部役員と職員合同で、ほぼ毎日あいさつ運動を行った。今後も継続していきたい。	・生徒指導が行き届き、生徒の服装の乱れがほとんどない。卒業式も素晴らしい。	・組織的な指導を継続し、あいさつ運動によって基本的生活習慣の確立を図る。
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	(10)情操教育を目的とした花いっぱい運動を1・2学期に1回ずつ実施する。	i 生徒会の組織を中心に参加生徒の呼びかけを行う。【保健施設】 ii 定期試験期間を利用し、生徒の参加を促す。【保健施設】	B	B	B	・目的と意義を理解させ意欲を持たせて年2回(1,2学期)実施することができた。	・花に囲まれた生活は、心に潤いをもたらす効果が期待できる。	・花いっぱい運動に引き続き取り組み、情操教育を充実させる。
		(11)1日の遅刻率を2.5%以下にする。	i 遅刻時の家庭連絡を徹底する。【学年】 ii 遅刻・欠席グラフの作成を通じて、指導の機会を増やす。【生指・学年】 iii 学年指導や成績並びに生活改善保護者会を開催し、生徒への反省と改善を支援する。【学年・教務・生指】	A	B	B	・遅刻を繰り返し、あまり改善されない生徒もいたが、全体としては2.4%であり、目標以上の達成率だった。	・これからも家庭と連絡を密にして、時間を守ることの大切さを伝えて欲しい。	・遅刻者に対して粘り強い指導を継続し、意識向上を図る。また、成績並びに生活改善保護者会で、保護者に協力を呼びかける。
		(12)職員室に入室する際に服装を正し、挨拶できる生徒が80%以上である。	i HRにおけるマナー指導を実施する。【学年】 ii 全職員で入室時の指導を徹底する。【生指】	B	A	A	・84%の教員が、「職員室に入室する際に服装を正し、礼儀正しくあいさつすることができた」と回答している。職員側の求めるレベルに近づけるために、生徒の意識をさらに高める指導を行いたい。	・生徒の服装や礼儀は年々良くなっており、先生方の指導の成果であると思う。生徒が社会人となったときに困らない指導を継続して欲しい。	・礼儀正しい態度を身につけられるよう、あらゆる場面で粘り強く指導する。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	5 生徒は健康で規則正しい学校生活を送っていますか。	(13)学校周辺美化活動(校外美化活動を含む)を学期に1回以上実施する。	i 各学年の行事として年1回実施する。【学年・保健施設】	継続	B	B	・校外周辺美化活動を計画どおり実施した。今後も継続していきたい。	・校外美化をすることによって奉仕の心を学ぶ機会となっている。	・環境美化への意識を高め、ボランティア精神を身につけさせる。
		(14)キャリア教育につながるよう、外部機関や外部人材を活用した進路行事を各学年とも年4回は実施する。	i 総合・LHRの時間を利用して、在り方生き方の指導や職業観の育成につながる講演会や学習会を実施する。【学年・進路】	B	A	B	・充実したガイダンス等を各学年とも年4回以上実施し、生徒の進路意識向上に役立てることができた。	・会社の社長や現場の話を聴かせているということについては、世の中へ出て役に立つことを教えられていると思う。外部講師の活用は、たいへん有意義なことである。	・外部講師の活用を継続し、キャリア教育推進を図る。
		(15)進路通信を定期的に発行する。(発行予定12回)	i 実情に即した進路情報提供と意識啓発を目的とした「進路通信」を毎月発行する。【進路】	B	B	B	・定期的に発行することができた。今後も、定期的な発行により、生徒・保護者の更なる進路意識の向上に役立てたい。	・生徒だけではなく保護者に対しても情報発信していくことは、とても必要なことである。ぜひ今後も取り組んで欲しい。	・生徒及び保護者に十分な情報提供を行い、進路実現に役立てる。
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	6 計画的な指導を行っていますか。	(16)学校をあげて進路実現を支援していると感じている生徒が70%以上である。	i 効果的な進路情報の提供と生徒の進路課題の共有化を図る。【進路】 ii 情報交換会や成績会議において情報交換を行う。【教務・学年】 iii 担任による二者面談・三者面談を充実させる。【学年・進路】 iv 進路意識を高めるための進路行事を実施する。【進路】	B	B	B	・84%の保護者が「玉村高校は学校をあげて、生徒の進路実現を支援している」と回答している。情報交換会や成績会議における情報共有を更に進めるとともに、担任による二者面談・三者面談などをおして生徒・保護者の進路希望の把握に努めていきたい。	・生徒、保護者がともに満足しているというのは、大きな成果である。来年度も充実した面談を続け、生徒理解を深めて、全員の進路実現に向けて支援して欲しい。	・進路課題に関する職員間の情報の共有化を図る。また、生徒に進路実現に必要な意欲と態度を体験的な学習等で身につけさせ、計画的な進路学習を展開する。
		(17)進路行事に積極的に参加したと自己評価している生徒が80%以上である。	i 体験的学習やグループ学習、全体発表などの授業形態を取り入れることにより、進路行事へ参加する意識を高める。【進路・学年】	B	B	B	・86%の生徒が「進路行事に積極的に参加することできた」と回答している。学校内のガイダンスのみならず、校外における「進路相談会」等への積極的な参加を今後とも推進して、進路意識の定着を図りたい。	・体験学習の報告会も2年目を迎え、生徒が主体的に活動できていることは大変素晴らしいことである。報告会等の活動を通して自分自身の将来についてよく考えて欲しい。	・事前学習と事後学習・報告会を充実し、自ら進路学習に取り組む姿勢を養う。
		(18)学校の教育活動を人々に理解してもらうために「学校公開」を年3回実施する。	i 5月のPTA総会の時に公開授業を実施する。【教務・渉外】 ii 1・3学期にオープンハウスを実施し、玉村町回覧板に掲載するなど、広報活動を行う。【教務】 iii 11月学校説明会の時に公開授業を実施する。【教務】	B	B	B	・授業公開を予定通り3回実施し、玉村町回覧板での回覧とホームページへの掲載を行った。学校説明会等の参加者数は横ばいだが、オープンスクールでは、中学生の参加者数が増加した。	・玉村高校を知ってもらう取り組みが十分になされている。来年度も積極的な広報活動が必要である。	・本校の特色や最新情報を発信するとともに、学校公開を積極的に行う。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	8 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	(19)中学生に教育活動を理解してもらうため「体験入学」を2回実施する。	i 近隣中学校への案内を郵送するとともに、中学校訪問による呼びかけを行う。【教務】 ii Webページに案内を掲載する。【教務】	B	B	B	・学校説明会を2回実施し、実際の授業の様子を見学してもらうことで、中学生に本校の良さを理解してもらうことができた。今後も、本校の教育活動が広く理解されるよう広報活動を工夫したい。	・入試倍率が高く、玉村高校の良さが周知されてきたと感じる。今後も広報活動に力を入れ、学校の発展に繋げて欲しい。	・学校説明会の企画を充実させ、中学生により深く本校への理解を深めてもらう。
		(20)学年保護者会等に参加している保護者が80%以上である。	i 入学式後に1学年の保護者会を実施する。【1学年】 ii 1学期、進路や卒業準備に関した保護者会を実施する。【3学年】 iii 2学期、修学旅行に関した保護者会を実施する。【2学年】	B	B	B	・各学年の保護者会の参加率は90%以上であった。今後も本校の教育活動をより理解してもらえるよう、保護者会を開催していきたい。	・今後も学校の教育活動を保護者に理解していただき、協力体制を確立してほしい。	・事前の広報活動を充実することによって、保護者会の出席率を高めたい。
		(21)学校通信を各学期ごとに発行する。	i 校務委員会で分担し、学期毎に学校通信(よろこぶ通信)を発行し、地域への回覧を依頼する。【校務】	B	B	B	・予定通り3回発行した。保護者だけではなく、玉村町の回覧板で地域に情報発信を行うことができた。今後も継続してきたい。	・保護者、地域住民に向けて、地道な情報発信を今後も継続していただきたい。	・定期的に発行している「よろこぶ通信」を通じて本校への理解と協力を得る。